

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和2年9月28日

会議の名称	第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会 (第1回)
開催日時	令和2年9月28日(月) 10時00分～12時00分
開催場所	志木市民会館 2階 205会議室
出席委員	星野敦子委員長、大熊啓太副委員長、安藤圭介委員、西川和男委員、佐越信治委員、西田裕二委員、関口清久委員、久保大地委員、小笠原諄乎委員 (計9人)
欠席委員	 (計 0人)
説明員職氏名	松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査 (計 2人)
議 題	(1) 第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について (2) 今後のスケジュールについて
結 果	委員からの意見を踏まえ素案を修正したうえで、次回会議では基本目標の内容について審議することとした。
事務局職員職氏名	松永市長公室長、外立秘書政策課長、松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長公室長あいさつ

4 委員長及び副委員長の選任について

委員長に星野敦子委員、副委員長に大熊啓太委員が選出された。

5 議題

(1) 第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

事務局より計画策定について概要を説明し、その後審議を行った。

○概要

まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、まち・ひと・しごと創生法に規定されている「少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかける」及び「東京圏への人口の過度の集中を是正」の目的を達成するため、国及びすべての地方自治体が策定するものである。

令和2年度をもって計画期間が満了を迎えることから、令和元年度を始期とする国及び埼玉県の総合戦略を勘案したうえで、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するものである。

また、人口推計については、平成28年に策定した志木市人口ビジョンにおいて試算するとともに目標人口を設定しており、令和2年度時点において、この目標人口を上回る推移を示していることから、人口ビジョンの改訂は行わないものとし、目標人口を達成するための基本的方向性についても継承することとした。

基本目標については、現行の基本目標に加え、国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案し、2つの横断的な目標を追加した。

なお、本市の総合戦略は、基本目標ごとに複数の具体的施策をまとめた政策パッケージを設定しているとともに、基本目標にまたがって、4つの戦略プロジェクトを設定し、成果目標の達成に向け取り組むこととしている。

（委員長）

会議については、今年度末の計画策定までの間に3回開催する予定と事務局より伺っている。そこで、本日の会議では、進め方の方針を整理し、それぞれの立場から自

由な意見をいただきたい。第2回の会議では、基本目標を1つずつ審議していただき、その意見を参考に事務局に素案を作成していただく。第3回の会議では、計画の最終確認及び微修正をしたいと考えている。

また、審議事項については、全体的な枠組みである基本目標及びこれを支える政策パッケージとし、具体的な事業など詳細については、志木市に一任したいと思う。

なお、個人的な意見として、他の自治体では基本目標の直下に具体的施策が位置付けられている例が多いが、政策パッケージは志木市の特徴であり、目標を達成しやすくするための良い方法だと思う。また、戦略プロジェクトについてもわかりやすい。

それでは、資料全体を通して、みなさまからご意見やご質問を頂戴したい。

(委員)

市民一人ひとりにSDGsの考え方が浸透していないように感じる。

一方で、市内企業においては、SDGsの目標達成を掲げて取り組んでいる企業もあれば、SDGsを認識してはいるが、実はSDGsにつながる取組みをしている企業もあると思う。

(委員)

具体的施策ごとにSDGsのロゴを表示すれば、各具体的施策がどの目標を目指しているかわかりやすいのではないか。

(委員)

基本目標1（結婚・出産・子育ての希望をかなえる）の政策パッケージ1-1（出産・子育て支援の推進）及び基本目標3（20～40歳代をターゲットにした転入の促進）の政策パッケージ3-1（出産・子育て支援の推進（再掲））が重複しているため、基本目標1を「結婚・出産・子育て・教育」とし、教育分野を基本目標3から基本目標1に移すなどしてまとめるのはいかがか。

(委員)

住みたいまちランキングの上位の都市をみると、出産・子育てに加え、教育の視点が評価されたように感じる。本市に転入する人も、教育環境の良さや子育てをしやすい環境という視点で選ぶ人も多いのではないか。

(委員)

親にとって、教育の視点は住むまちを選ぶうえで大きな要因になると思う。

(委員)

コンパクトで利便性のある都市はどこにでもあり、定住につなげるためには、人の営みや地域とのつながりにより形成される「文化」の視点が必要ではないか。

そこで、政策パッケージ2-3（支え合いの地域コミュニティ）の概念を横断的な目標3として新設し、すべての施策にコミュニティを充実させるような視点を取り入れてはいかがか。

(委員)

転出入が多い土地柄のため、志木市がホームになるような、地域とのつながりや地域コミュニティの活性化につながる取組が重要だと思う。

また、基本目標1に、在宅子育ての支援という視点も加えたい。

(委員)

働く人の立場からも、地域コミュニティの場としての子育て支援拠点の整備は重要だと思う。

(委員長)

子育ての拠点が地域コミュニティの拠点にもなるという流れは、全国的にも現れてきており、地域コミュニティの形成と子育て支援が一致してきている。

地域コミュニティの形成がさまざまな分野にかかわってくるが見えてきたことから、志木市独自の横断的目標として新設する案は良いと思う。

(委員)

「文化」については、行政が介入しすぎると、資金利用に対する制約が大きくなりやすいため、予算・協賛の支援までとし、民間（市民）主導で進めるべきである。

(委員)

志木市にとって音楽などの文化・芸術の視点も大事だと思うので、加えていただきたい。

(委員)

事務局の説明では、現在の人口が目標人口を上回る推移を見せていることから、今までの取組を継承するとのことだが、個人的には大規模マンションの建設による影響が大きいと考えるため、現在の人口を維持するためにも、今後の開発見込みを含めた都市計画ビジョンを持つことも必要ではないか。

(委員)

2022年以降に現在の生産緑地の解除が懸念されている「生産緑地の2022年問題」について、解除された生産緑地の活用方法によっては、志木市の人口に影響を与えるのではないか。

(委員)

Society5.0やICTという言葉について、進展が著しく、表現がすぐ変わる可能性がある。既にDX（デジタルトランスフォーメーション）という言葉も出てきており、これらの言葉の使用については少し考える必要があるのではないか。

(委員)

空き家対策について、民間事業者等との協力により、空き家を若い世代に循環していけるような仕組み作りができないか。

(委員)

現行の総合戦略でも空き家対策を具体的施策に位置づけているが、空き家等バンク制度の実績が少なく、うまく活用されていない印象を受ける。第二期総合戦略ではもっと活用されるような方策を考えていく必要があるのではないか。

(委員)

コロナ禍においては、支社機能やテレワークの拠点などに空き家を活用できるのではないか。

(委員)

コロナ禍による新しい生活様式などの視点の追加も検討してもらいたい。

(委員)

コロナ禍によって、デジタル化の重要性を認識しており、今後、DXをまちづくりにどのように組み入れていくのか検討が必要だと感じた。

(委員)

5G（第5世代移動通信システム）に対応した基地局の整備なども考えられる。

(委員)

子育て支援策について、国際結婚などグローバルな視点を取り入れることで人口増加・定住促進になるのではないか。

(委員)

魅力あるまちづくりについて、志木市は川があり緑が豊かなので、自然を生かしたPRができると思う。散歩ができる小道だったり、水遊びができる水辺など、身近な場所で自然を体験できるという点は子育て環境として魅力的であり、高齢者にとっても、自然が身近にある環境は住み心地が良いのではないか。

加えて、デマンド交通やカーシェアリング、シェアサイクルなど環境に配慮した取組が率先して行われていることも志木市のPRになると思う。

(委員長)

まさに、SDGsにつながる取り組みの例を挙げていただいた。

武蔵野の自然が残っていながらも、交通の利便性が高いところなどが志木市の魅力だと思う。

(2) 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて確認を行った。

- ・第2回策定委員会：10月19日（月）13時～（予定）
- ・政策推進会議（庁内部局長）：11月上旬
- ・パブリックコメント：12月1日～1月4日
- ・第3回策定委員会：令和3年1月19日（火）10時～（予定）

- ・計画策定：1月下旬
- ・計画配布（冊子）：2月下旬

6 その他

今後の会議において、急用等で欠席される場合は、必ず事務局（秘書政策課）までご連絡をお願いしたい。

7 閉会

星野委員長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。